

# 価値ある古典学習 —楽しく学ぶ3つのアイデア—

東京都杉並区立泉南中学校

日高 辰人

古典学習は楽しく、価値あるものでありたい。そのために、各先生方は様々な工夫をしながら古典の指導をされている。私の拙いアイデアを以下に三例紹介する。

## 一 故事成語でのアイデア

「矛盾」を学習後、故事成語の補充として故事成語カードを以下の方法で作らせた。

- ① 国語便覧にある故事成語を学級人数（小規模校なら学年人数）分選ぶ。
  - ② くじ引きで任意の故事成語をB4程度の画用紙にイメージ画（故事成語カード）を描かせる。
  - ③ 各自の描いた故事成語カードを提示させ、その故事成語を当てさせる。
- 授業終了後は廊下に作品を掲示し、学年全員の生徒がゆっくりと見られるようにした。友人の描いた故事成語カードを見ることによって、生徒は多くの故事成語を覚えることができた。

## 二 家族との交流を深めるアイデア

「平家物語」の概要説明、冒頭部の暗唱、学習材の読みを行った。次に以下の三つの課題を各自で考えた後に家庭に持ち帰らせ、家族と共に話し合い、それをワークシートに記入させた。

- ① 敦盛の人物像をつかむ。
- ② 直実の心の葛藤を読み取る。
- ③ 直実の出家への思いをつかむ。

家族との話し合いでは、母親と一緒に考えた生徒が多かった。次に兄弟姉妹、最後に父親であった。わずかではあるが、祖父母と共に考えた生徒もいた。

クラスで交流会を行った際に、友人の考えと家族の考えが違っていたり、深まっているのを知り、「君のお母さんなら、そういうだろうなあ」「あなたのお兄さんなら、そう考えそうね」などとの会話がでていた。しかし、生徒・保護者共に忙しすぎるからであるのか、生徒の二〜三割は様々な理由で家族との話し合いができなかったことは残念であった。

## 三 暗唱手助けシートのアイデア

暗唱が苦手な生徒用に各段（行）の最初の何文字かを印刷した用紙を与え、暗唱の手助けとさせる。暗唱などが苦手な生徒でも、何回か行っていくうちに、暗唱のコツをつかみ、様々な古文・漢詩を楽々と暗唱が出来るようになった。

ひだか たつひと 杉並区立泉南中学校主幹。今年度は漢字と書写指導を充実させ、効果的な指導が行えるような授業に取り組んでいる。